



平成29年度 雲仙ふるさと景観百選受賞作品【撮影場所：田代原(国見町)】

主な内容

P2 平成30年第2回定例会概要

P6 平成30年第2回臨時会概要

P7 常任委員会報告

P10 市政を問う「一般質問」

P17 福島県国見町との交流

P19 政務活動費報告

平成30年 第2回定例会の概要

平成30年第2回定例会が6月7日(木)～29日(金)の日程で開催されました。
 主な議案は一般会計及び特別会計の補正予算や条例の改正などでした。
 また、11名の議員による市政一般質問も行われました。

平成30年度 一般会計補正予算（第1号）の主な事業

**3億8,915万円の増額補正で、
補正後予算額は298億875万円**

◇ 産地パワーアップ事業【新規】 補正額 **3億1,964万円**



人参の集出荷施設

【事業目的】

「総合的なTPP等関連政策大綱」に
 即し、産地一丸となって創意工夫し、
 産地の営農戦略として定めた「産地
 パワーアップ計画」に基づき、意欲あ
 る農業者等が効率化によるコスト削
 減や、実需者ニーズに応じた産地体
 制整備を行う取組実現のため、ソフ
 ト・ハードを一体的に支援する。

【事業（補正）の内容】

・ 人参 集出荷施設・洗浄選果機 1棟・1台	・ 草花 低コスト耐候性ハウス 1棟	・ ミニトマト 低コスト耐候性ハウス 3棟	・ レタス パイプハウス資材 24棟 育苗ハウス 2棟 ベタ掛け資材 350a	・ 苺 パイプハウス資材 3棟 設備機械リース（加温機等） 24台 ブロッコリー 農機具リース （乗用半自動移植機等） 39台 育苗ハウス 3棟 ベタ掛け資材 150a	・ 白菜 パイプハウス資材 32棟	・ 大根 洗浄選別機 1台
------------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	--	---	----------------------------	------------------------

◆ 地域介護・福祉空間整備事業【新規】

補正額 **878万円**

【事業目的】

既存の認知症高齢者グループホームの老朽化に伴う大規模な修繕に要する経費を支援し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を図る。

【事業（補正）の内容】

利用者等の安全性確保等の観点から老朽化に伴う大規模な修繕等を実施する市内2事業者へ、工事費用の一部を助成する。



◆ 農地耕作条件改善事業【新規】

補正額 **690万円**

【事業目的】

排水性が悪い農地に暗渠排水を施工し、排水性を向上させることにより、農地の汎用化を図り、作付体系を高収益作物へ転換することで農業経営の安定化及び農地中間管理機構による農地利用集積・集約化を促進する。

【事業（補正）の内容】

- ① 工事場所 吾妻町守山地区
- ② 事業内容 ・ 測量設計業務委託
・ 暗渠排水工

③ 負担区分

国	55%	面積 1.74 ha
市	22.5%	
地元	22.5%	



産業建設常任委員会による工事場所の現地視察

◆ 漁業就業者確保育成対策事業

補正額 **430万円**

補正後 **2,905万円**



漁業技術研修

【事業(補正)の内容】

漁業技術研修に取り組み研修生及び指導者に対する助成

【事業目的】

水産業における高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少に対し、本事業による漁業技術研修を実施することにより、市外からの参入や市内の非漁業者からのチャレンジを支援し、新規漁業就業者の増加を図る。

◆ 大規模建築物耐震化事業

補正額 **3,341万円**

補正後 **2億4,207万円**

【事業(補正)の内容】

耐震改修計画作成費に対する助成
件数 2件(施設名…
富貴屋、東洋館)

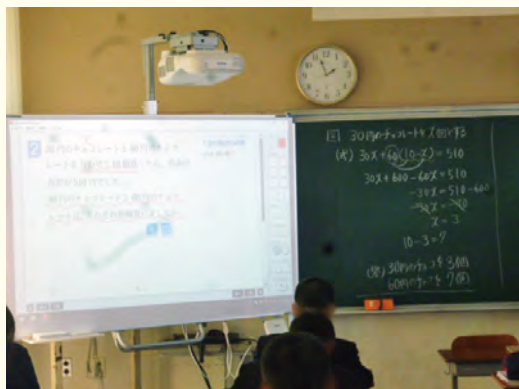
建築物の耐震改修の促進に関する法律改正により、耐震診断の実施が義務付けられた不特定多数が利用する大規模な建築物の所有者に対して、当該建築物の耐震化に係る費用の一部を助成し、大規模建築物の耐震化を図る。

【事業目的】



動産の買入れについて

市内小中学校のICT教育の普及のため、電子黒板及び関連機器を買入れるもの。



電子黒板を使った授業風景

・主な買入物件

電子黒板を市内小中学校に62台導入する。

・落札業者 扇精光ソリューションズ株式会社

・落札金額 43,696,800円

平成30年第2回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 52 号	専決処分した事件の承認について（雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案 第 53 号	専決処分した事件の承認について（平成29年度雲仙市一般会計補正予算（第7号））	承 認
議案 第 54 号	専決処分した事件の承認について（平成29年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号））	承 認
議案 第 55 号	専決処分した事件の承認について（平成29年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	承 認
議案 第 56 号	専決処分した事件の承認について（平成29年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第4号））	承 認
議案 第 57 号	専決処分した事件の承認について（平成29年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第3号））	承 認
議案 第 58 号	雲仙市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 59 号	雲仙市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 60 号	雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 61 号	平成30年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第 62 号	平成30年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第 63 号	平成30年度雲仙市水道事業会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第 64 号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第 65 号	市道路線の変更について	原案可決
議案 第 66 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
請願 第 1 号	日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出についての請願	採択
発議 第 2 号	日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書	原案可決

意見書を国へ送付しました

※意見書の文面は、抜粋を掲載しています。



日本政府に核兵器禁止条約への 調印・批准を求める意見書について



世界で唯一の被爆国である日本政府が核兵器廃絶の先頭に立ち世界をリードすべきであるが、現時点では核兵器禁止条約への調印・批准を行っていないため、早期に本条約への調印と批准することを求めるもの。

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣

平成30年 第2回臨時会の概要

平成30年5月2日に第2回臨時会が開催され、議案について採決が行われました。
議決結果は次のとおりです。

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 51 号	副市長の選任について	原案可決

※ 議案第52～57号の6議案については、「継続審査」となり、平成30年第2回定例会において採決が行われました。議決結果は、5ページをご覧ください。

賛 否 表

	結 果	表 決 数 (投票)
副市長の選任について	可決	12 : 6

副市長



酒井 利和 氏

平成30年5月2日
平成34年5月1日(4年間)

人事案件

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成29年度一般会計補正予算(第7号))	承 認
税条例の一部を改正する条例	原案可決
平成30年度一般会計補正予算(第1号)案	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認1件、原案可決2件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認
平成29年度一般会計補正予算(第7号)

質疑 個人番号カード交付事業の補助金が減額されているが、雲仙市でのカード交付状況はどのようなになっているのか。

答弁 平成30年4月末で、申請件数が3705件、交付件数が3102件となっており、人口に対する申請率としては約8.3%となっている。

質疑 市税である固定資産税について、家屋の増加があつて税収が増えているということであるが、件数は何件なのか。

答弁 平成29年度に新たに課税対象となった新增築家屋については、約200棟あり、税収が増額している。

質疑 ふるさと応援寄附金において、平成28年度の寄附額の減少と平成29年度の寄附額が増えた原因は何か。

答弁 平成27年度に比べて平成28年度の寄附額が減少したのは、ふるさと応援寄附金に関する自治体間の競争が激しくなったことが原因と考える。また、平成29年度に寄附額が増えたの

は、平成28年度に寄附額が減少したことを受け、寄附額受付窓口として、インターネット上の「楽天」のサイトを取り入れたことが大きな要因と考えている。



質疑 定住促進対策事業の新築住宅取得補助金制度において、平成29年度の申請件数は何件あったのか。

答弁 承認・決定したのが64件であった。

意見 本制度は、定住促進を目的とした補助制度であるので、庁舎内で所管を越えた横の連携をとって、市民へはもちろん、雲仙市内及び近隣市内の建築業者等に対しても、本補助金制度の周知を行っていただきたい。

質疑 不動産売却収入において、牛口みなとタウン分譲地の状況はどうなっているのか。

現地調査を実施
今回、愛野コミュニティセンター(仮称)新築工事について、現地調査を実施しました。
平成31年秋の開所を目指し、工事が進められていました。

平成30年度一般会計補正予算(第1号)案

質疑 自治振興費のコミュニティ助成事業の内容はどのようなものなのか。

答弁 南串山町の田ノ平自治会が、祭りをはじめとする地域行事に活用したいとの目的で、老朽化している音響施設の更新や太鼓等を購入するために申請されている事業である。



愛野コミュニティセンター(仮称)新築工事現地

総務

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）ほか3件	承 認
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例　ほか4件	原案可決
日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出についての請願	採 択

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決5件、採択1件と決定しました。

主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成29年度一般会計補正予算（第7号））

質疑 浄化槽関係において歳入の国庫・県費補助金が増額、歳出の浄化槽設置整備事業が減額との説明があったが、整合性についてはどうなっているのか。

答弁 国庫・県費補助金の増額については、浄化槽設置基数の増加により、国・県へ追加の申請をしたことによる補助金の増加であり、歳出の減額については、維持管理費部分（浄化槽清掃補助等）にかかる市単独の補助件数の減により減額となったものである。

質疑 予防接種事業の主な減額理由は。

答弁 接種予定時期に病気等により接種できなかったり、出生数の減により減額となったものである。

文教厚生

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

動産の買入れ

本事業は、小中学校電子黒板等の関連機器を導入するもの。

質疑 電子黒板の型としては大型テレビと認識していたが、プロジェクターで白板に映すというのが電子黒板なのか。

答弁 平成21年度に導入した電子黒板はプラズマテレビに機能がついたタイプであったが、今回導入する電子黒板はパソコンの画面をプロジェクターでボードに投影をして、文字を書いたり、動画を映したりするような機能を持つ電子黒板である。

質疑 教職員に対する操作研修会の開催はどうしているのか。

答弁 学校教育課主催による各学校ICT担当者向け研修会の開催を計画し、ICT担当者より伝達研修を各学校で実施してもらうよう考えている。

質疑 放課後児童支援員は、5年以上放課後児童健全育成事業に従事し、県が実施する研修を受講し、市町村長が適当と認めれば誰でもなれるものか。

答弁 5年以上放課後児童クラブの補助員として従事する必要があるが、市長が研修を受けることが適当と認め、最終的には研修を受けて修了した方が支援員となるが、市長が認める場合の基準について、現在、国から詳細な説明が出されていない状況である。研修については10月に開催予定となっているため、それまでには連絡がくるかと思われる。

日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出についての請願

意見 世界で唯一の被爆国、被爆県であり、高校生平和大使が今年のノーベル賞候補にもなったということであり、被爆県民として当然、提出するべき。

採決 全会一致で採択すべきものと決定した。



常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成29年度一般会計補正予算(第7号)) ほか2件	承 認
平成30年度一般会計補正予算(第1号)案 ほか2件	原案可決
市道路線の変更について	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認3件、原案可決4件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認(平成29年度一般会計補正予算(第7号))

質疑 雲仙ブランド推進事業は、うんぜん逸品と一つになったのか。

答弁 現在は別々であるが、来年4月1日から統一しようという準備を進めている。

質疑 海岸沿いの松は、松くい虫防除事業補助金で年何回実施しているのか。

答弁 マツノマダラカミキリを死滅させる地上散布と枯れ松を伐倒して防除する二種類の方法があるが、年に1回ずつ実施している。

意見 長浜海岸、千々石海岸のどちらも立派に育っている松の木である。枯れない方法は、消毒及び枯れ松の伐倒しかないと考えするため、十分に実施してもらいたい。

質疑 市農道維持管理費の中で実施している広域農道の修理について、舗装に穴があいた箇所がいくつも見受けられるのになぜ980万円もの執行残となったのか。

答弁 穴があいた箇所については、舗装補修材を購入し、見回りや通報による発見の際、市担当者による穴埋め作業で対応している。

意見 早急に発見し、修復するためには、全庁的に市職員が担当課へ連絡するような体制を構築すべきである。

専決処分した事件の承認(平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第4号))

質疑 下水道使用料滞納繰越分が124万円減ったのは、特別な徴収対策を行ったからなのか。

答弁 従来から行ってきた督促事務等に加え、平成28年度からは3ヶ月以上の長期滞納者に対し、呼び出しのうえ納付相談をし、当月請求分とあわせて最低滞納1ヶ月分を納めてもらい、基本1年から2年で完済するよくな返済内容の誓約を交わしている。

専決処分した事件の承認(平成29年度国民宿舎事業特別会計補正予算(第3号))

質疑 一泊二食の場合、宿泊料と食事料に分けて計上することだが、旅館等では全て宿泊料に計上する。観光統計等も重要視されている中で、統一した予算計上に改めた方がよいのではないのか。

答弁 統計的に処理する場合は、一般旅館と同じような取り扱いをしている。

平成30年度一般会計補正予算(第1号)案

質疑 荒廃農地等利用促進対策事業に該当する補助要件は、農業振興地域内であることが前提とのことだが、農業振興地域内よりも地域外の方が耕作放棄地は多いと考える。農業振興地域外の対策も必要ではないのか。

答弁 基本的には基盤整備等で集約しながら担い手に結びつけるという大きな考え方が国、県

にあり、補助要件の中で実施しているが、そのような状況もあるため、国、県に要望等をしていきたい。

市道路線の変更について

質疑 新しい道路ができれば、幹線道路からの出入り口が二箇所となり危険に感じるため、旧道となる現在の道路は残さずに農地にした方がよいのではないのか。

答弁 畑の進入路としても利用されているため残す必要がある。

現地調査を実施

今回の議案に関連する7箇所
の現地調査
を実施した。



産業建設

市政を問う

11名の議員が一般質問

町田 康則…P10
大久保正美…P11
平野 利和…P11
松尾 文昭…P12

渡辺 勝美…P12
藤本淳次郎…P13
山本 松一…P13
大山 真一…P14

上田 篤…P14
酒井 恭二…P15
矢崎 勝己…P15

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

市民の安心・安全対策



まちだ やすのり
町田 康則 議員

市長 私も県議会議員の時、防犯カメラの効用について一般質問をした。防犯カメラの必要性については、十分認識している。プライバシー

議員 日本は治安の良い国と言われていた。しかし、子どもや高齢者、障害者などを狙った犯罪が多発し社会問題となっている。市民生活の安心・安全のために防犯カメラの設置補助金を設ける市が増えている。九州でも福岡市・北九州市・玉名市・石垣市・沖縄市がある。雲仙市民の安心・安全のためにも必要ではないか。

必要な自治会には、防犯カメラの設置補助金を

議員 長崎市では、イノシシの生活環境被害が6割に達しているの、79団体のイノシシ捕獲隊をつくり市民の安心・安全を守ろうとしている。金沢市では、防護柵の資材費の支援制度を、農家だけでなく、町内会も利用できるようにして、イノシシの侵入を防ぐ対策としている。市民の安心・安全を守るように検討、実行してほしい。

市民生活部長 住宅地に出没するとまず警察に通報し、市民に向けての広報をするようにしている。

議員 雲仙市では農業被害額は、ワイヤーメッシュ489kmの設置等により1、000万円以下になったが、住宅地・学校付近での対策は。

住宅及び学校付近、通学路でのイノシシ対策は

の問題もあるので慎重に研究する。

子育て支援制度



おおくほまさみ
大久保正美議員

子育て支援



議員

子育て中の経済的負担軽減や人口減少対策のため、紙おむつやミルク代等の補助制度を設ける考えはないのか。

市長

紙おむつやミルク等の育児用品の補助制度については導入に向けて調整する。

議員

いつから実施するのか。

市長

平成31年度の開始を目指す。

道路に関する要望

議員

現在、国に要望している愛野小浜バイパスを島原道路の延長として半島を一周するように要望するべきではないか。

市長

半島を一周するためには、解決しなければならぬ課題が多いため、研究を進める。

土地改良団体における施設使用料の不均一

議員

市内の土地改良団体で使用料に差があるのは不公平ではないのか。今まで、監査委員は分からなかったのか。

監査委員

今まで気づかなかった点については、非常に申し訳ないと思っている。

市長

市内の土地改良区に係る施設使用料については、全額免除出来るように調整する。

多比良港埋立地活用は

小中学校のエアコンは

議員

長崎県のエアコン設置率は、九州最低だ。今までは、設置費用や維持管理費に莫大な費用がかかるので、老朽化した学校施設から改修を行っていく、との答弁と認識している。

文科省が今年度から教室の学校環境衛生基準が従来の10度以上30度以下から17度以上28度以下と改定されている。考えを改めないといけないのではないのか。

教育次長

当然この基準が変わり、考え方の修正もしなければならぬ。54年ぶりに基準が改定され今の扇風機では対応が厳しいと実感している。研究を深めていきたい。



ひらの
平野
としかず
利和議員

多比良港埋立地の活用は

議員

地元企業から立地の要望があった場合の対応は。

産業部長

立地については、市内外の区別なく、工場等設置奨励条例に基づく指定業種を基本に、産業振興に向けた規模拡大や雇用増大を図る方針で具体的な立地計画を聞き対応していく。

議員

県の土地の為、県と協議して交渉が整った時の市としての意気込みを。

副市長

パンフレット等の作成や県産業振興財団などのホームページ等への掲載など積極的な企業誘致活動に取り組んでいく。



多比良港埋立地利用計画図

生涯学習の取り組み

教育の日の設置

議員 学校、家庭、地域社会の一部で見られる異常な現象は、教育関係者のみならず、国民の心を震撼させている。これらをただすには、国民一人一人が教育のあり方を真剣に考える機会を設けて、解決に向う必要がある。そのため、国民の祝日、山の日に次いで、教育振興を期する象徴日として、また文化国家、世界に誇れる教育の日を国民の祝日として制定されるよう全国的に動きがあっているが、市の教育委員会としての考え方を伺いたい。

教育長 県では、教育の日に相当するものとして、教育週間である「長崎っ子の心」を



まつお 文昭 議員
松尾

見つめる教育週間」を平成16年から設け、毎年5月から7月までの期間中の1週間を各学校が設定する形で行われ、雲仙市も、この期間中市内の全ての小中学校が「雲仙市子ども心を見つめる教育週間」を設定し実施している。また、従来やっている諸行事を、充実させたい。

生涯学習としての取り組み

議員 人口減少等に伴う子ども会組織活動の停滞、その弱体化への取り組みについての考えは。

教育次長 これまで青少年協と子ども会の組織については、駐在職員が窓口となっており、活動の支援を行っていた。今年度より、青少年関係の団体組織を統合する事で窓口を一本化し専属の担当嘱託員を生涯学習課の中に3名配置し、これまでの枠を越えて団体間の連携を推進している。

農業振興対策は

耕作放棄地の現状と対策

議員 市内の遊休農地は、全体で708ha、平成23年度の約1・6倍に増加している状況である。年間どの程度減少させていく方針か。

市長 平成33年度までに年間目標面積30haを達成できるよう、担い手とマッチングの推進、中山間地においては、放牧の推進等の取り組みを進めている。

副市長 大変大きな数字である。未然に防ぐ対策と農業委員会とも連携して進める。

議員 耕作放棄地がそのままだと税金が上がると聞いたが。

市民生活部長 農地法に基づき、遊休農地が対象となり、評価額の算定方式が変更さ



わたなべ 勝美 議員
渡辺

れ、税額が上昇する。

議員 農地10a当りの上昇率はどのくらいか。

市民生活部長 通常の農地の約1・8倍の上昇率となる。
議員 振興作物にアジサイ等を加え、観光の町にPRを。



ドローンによる薬剤散布

小型無人機の活用は

議員 防除ヘリの導入目的は。
産業部長 農家の労働力を軽減し、生産コストの低減や一斉防除で防除効果を高める。

議員 ドローンの資格習得は。
産業部長 ドローン資格習得支援事業を新たに予算化した。

議員 農業技術の日進月歩、新しい農業技術を速やかに農業者に流せる体制を。

雲仙市消防団の活性化

消防団員の定数見直しは

議員 合併後、旧町より引

継いだ消防団員の定数を、見直す考えはないのか。それと、オートマチック限定免許を持つ消防団員や昨年の道路交通法改正による消防車輛の運転限定について、市の対応は。

市長 条例定数に対し、現在151人が不足している。市では平成29年度から県と連携し、消防団員会員証の提示による割引優遇サービスを開始した。また雲仙市商工会と消防団活動の充実強化に向けた支援協定や災害時の勤務免除をお願いした。市として今後も団員確保に取りくむ。

市民生活部長 消防団員のオートマチック限定免許及び

昨年3月改正後の普通免許の取得者の対応については、県の動向を注視しながら、対応したい。

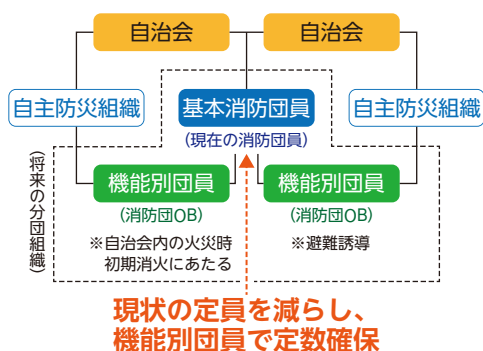
議員 総務省が機能別団員の

の制度を進めているが、基本団員を減し消防団員OBを機能別団員として導入できないか。

市民生活部長 大変効果的な方法の一つなので、消防団や自治会と十分協議をしていく。

議員 団員が誇りを持って活動し、魅力ある消防団となるよう、今後改善できることは改善していくよう、要望する。

町内の消防組織構成案



他の質問
国道389号の今後の計画は。

自治集会所にAEDを

自治集会所のAED設置

議員 市民が心肺停止にな

った場合、一分一秒を争うので、救急隊到着までにAEDを使用することが重要と思う。公共施設のAEDは夜間でも使用できるのか。

市民生活部長 公共施設は

施錠しているところもあり、決して使いやすい状況ではない。

議員 身近な自治集会所に

AED設置の考えはないのか。また補助金はないのか。地域振興部長 市が設置するのではなく、自治会で設置してもらいたい。市の補助金、県・国の補助金も無い。

ヘルプカードの普及は

議員 ヘルプカードとは。

健康福祉部長 障害のある

人や高齢者など、援助を必要とする人が携帯し、必要な支援を周囲の人に伝えるカード。

議員 外見上は病気や障害

がわからない人にとって大変有効なカードなので市民への更なる普及を願う。

健康福祉部長 積極的に周

知したい。

男女共同参画計画は

議員 共働き世帯が増えて

いるが、市内の学童保育は足りているのか。

健康福祉部長 現在市内に

11か所あるが平成30年度に瑞穂・小浜、平成31年度に国見・千々石にそれぞれ一か所ずつ増やす。

議員 在宅介護家族の負担

軽減の具体策はあるか。

健康福祉部長 食事や清掃

などの、訪問型サービスを実施している。

議員 約7割の家族介護者

が精神的、肉体的に限界を感じているので家族が精神的に追い込まれないよう支援・対策を要望する。

消防署の救急業務体制



おおやま しんいち
大山 真一 議員

南部地区の救急体制は

議員 広域消防における雲仙市南部地区の救急業務の現状についてどのように考えているのか。

市長 本市南部地域の南串山地区においては、救急出場の平均現場到着時間及び病院到着時間が県央組合圏域の平均到着時間をいずれも大きく上回っている。市内における救急車の到着時間の短縮に向けた解決策が喫緊の課題であると位置づけ、昨年5月に県央地域広域圏組合へ雲仙市南部地区への分署増設の要望を行ったが、本年4月に組合管理者から、現時点では雲仙市南部地区を含め広域圏組合圏域において分署の増設は直ちに

に必要な状況ではないと判断したとの回答があり、大変厳しい内容であると受け止めている。

議員 広域圏内での地域間格差解消策として早急に小浜消防署の建て替え用地の選定をすべきではないか。

市民生活部長 消防署の建て替えをできるだけ南部地区の近くへ検討できないかという議員の意見を含めて、消防力向上委員会で再度検討をお願いしたい。検討委員会の審議結果は年内を見込んでいます。

議員 本市は常備消防が2つの広域圏組合に属しており、極めてまれな状況であるが、今後の見込みは。

市民生活部長 本市の現状は2つの消防本部の管轄となっており、救急防災体制の連携が容易ではない。これを解消するためにも県下1消防本部体制を基本とした市町消防広域化を推進してもらうよう県に強く要望していきたい。

「千年の湯」を残して



うえだ あつし
上田 篤 議員

「まちの賑わい」にも貢献

議員 「みずほ温泉千年の湯」の営業状況はどうか。今後の在り方をどう考えるか。

市長 この施設は平成13年3月にオープンした。当初は利用者も多かったが、近年は減少している。老朽化により維持管理経費が増加傾向にある。現在、あり方検討委員会が審議しているが、そこでの最終的な意見を踏まえ当施設の方向性を判断する。

教育長 当初は14万人を超える利用者があったが、近年は約6万人台の利用者だ。過去3カ年の収支状況は、年間収入が約2700万円、支出は約4800万円、年

間約2100万円のマイナス経営である。

議員 厳しい経営状況だと思ふ。この施設は、住民の福祉と健康の増進を目的に造られた。利用者が減ったとはいえ年間6万人から7万人が利用しており、「まちの賑わい」とか「交流人口の増大」にも貢献している。千年の湯だけではなく、グラウンドやテニスコート、コンサート会場（イベント広場）、宿泊施設やプールなど様々な施設が1カ所に集まっているところは他にない。施設を存続させることを強く求める。



みずほすこやかランド

どうなる？分署増設

どうなる南部地区の分署増設

議員 平成28年の施政方針での表明に至るまでに、どのような思い、思慮をしたか。

市長 南部地域から救急体制の整備を求める多くの意見があり、小浜消防署の建替えの場所の選定と合わせて救急車到着時間の短縮の取り組みが喫緊の課題であると位置づけを表明した。

議員 分署を増設する場合の予算、将来的な財源の根拠はあったのか。

市長 財政部局に検討させ、将来的にも一定の財政運営を維持できる見通しを立てた。

議員 市長は施政方針の内容に沿った分署増設の要望書を、平成29年5月に県央広域市町村圏組合に提出し、今年4月、組合は「現時点で雲仙市南部地区に分署の増設は直ちに必要ない」という回答書を届けているが、消防組織の使命である生命と財産を守る為、救急体制をより強化しようとする雲仙市の要望に対し、組合消防が自らにして足りない、とはおかしいと思う。仮に一億円の経費を必要とした場合、負担金はどうなるか。

部長 本市が9250万円、諫早市450万円、大村市300万円となる。

議員 県央の回答には納得がいかない。小浜消防署の建替えが差し迫っている。場当たり的な候補地選定は禍根を残すので、増設の要望をもう一度出せないか。

市長 県央消防が出来ないと結論を出した以上、それと前提に雲仙市の消防をいかに効率よく運営するかという方向に進むべきと考えている。



さかい きょうじ 議員
酒井 恭二

小中学校エアコン設置



やざき かつみ 議員
矢崎 勝己

議員 小中学校へのエアコンの早期実現は。

教育長 環境衛生基準の変更に、教育委員会としての考え方も修正が必要。総合教育会議で意見交換を行い、より一歩、もっと深く、いろんな角度から研究していく必要がある。

市税等の滞納は

議員 多額の市税等が滞納されているが、その徴収方法は。

市民生活部長 電話や文書による催告の実施、納税相談を受け自主的な納税になるよう促している。納税に対して不誠実や約束を守らない滞納者には財産の差し押さえを実施する。

議員 僅か4万円程度の物件を公売するのに職員の人件費は振替休日を取って対応したとある。職員の19万円もの人件費を費やす市町公売会は有効と思うのか。

市民生活部長 差し押さえた財産は換価、現金化するため公売を実施している。具体的な手段であり滞納の抑止効果として自主納税につなげている。

議員 もっと別な方法を今後協議、研究することを望む。

港湾・漁港の管理は

議員 漁港内に放置された廃棄物等で環境美化を損ねているがその把握と対応は。

産業部長 平成28年度より毎年1回調査、各漁協へ組合員への周知を図り、漁港施設の適正な管理を行うため、文書で4回通知した。

議員 環境美化を損ねた状態を早期に解消するよう監督、管理を要望する。

議会のうごき

4月1日（日）

韓国求礼郡との交流会

姉妹都市である韓国求礼郡から徐 沂東（ソ・キドン）郡守、朴 泳根（パク・ヨングン）議長ら13名の雲仙市訪問に伴い、伊勢屋旅館で交流会が開催され、議会からは元村議長、浦川副議長、坂本産業建設常任委員長が出席しました。



4月16日（月）

諫早・雲仙フルマラソンの実現を支援する議員の会 役員会

議員の会は諫早市の陸上競技場を発着点とし、堤防道路を通るルートでの開催実現を目指し、諫早市の有志の方が中心となって目指されているもので、その実現に向けての協議がなされたものです。

今後の動きに注視してまいります。



5月17日（木）

愛野・小浜バイパス建設に関する署名簿提出

雲仙市婦人会連絡協議会、雲仙市自治会連合会、南島原市自治会長連合会の代表者が愛野・小浜バイパス建設に伴う要望書を本田国土交通省長崎河川国道事務所長に手渡され、金澤市長や元村議長が立ち会いました。



5月20日（日）

関東島原半島会70周年記念大会

記念大会に元村議長が出席しました。

70年の長きにわたり会員相互の強い絆で交流が深められ、郷里の発展のためご支援をいただいております。この70周年を節目として、関東島原半島会の益々のご発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。





交流30年以上続く

「国見」の縁

福島県国見町議会9名の皆様が本市議会を表敬訪問され、元村議長以下多くの議員が対応致しました。

福島県国見町とは、本市の旧国見町が平成9年に交流協定を締結され、合併まで市民団体等の交流が盛んに行われていました。平成23年に発生した東日本大震災の時に、本市旧国見町の議員が主体となって義援金を持参されていた関係で今回、そのお礼を兼ねて表敬訪問されたものです。被災者の一日も早い復興をご祈念致します。



行政視察受入一覧

(H30.1 ~ 7月)

視察日	市（町）議会名	委員会（会派）	視察内容
1月31日	山口県下関市	会派 みらい下関	雲仙市における障害者に対する就労支援策及び課題について
2月14日	沖縄県うるま市	会派 希望	定住促進奨励補助金制度について
5月17日	香川県観音寺市	総務委員会	定住促進奨励補助金制度について
7月18日	茨城県下妻市	経済建設委員会	農事組合法人 吾妻農産加工組合の取り組みについて



沖縄県うるま市議会



香川県観音寺市議会

議会運営委員会調査

福岡県飯塚市議会、 山口県下関市議会

平成30年5月8日～9日、福岡県飯塚市議会、山口県下関市議会を訪問し、調査を行いました。

飯塚市議会では、本会議等の資料にかかるコスト削減を図る目的のため、平成30年2月定例会よりタブレット端末を導入しペーパーレス化を図られていました。

当日は、機器を使つての操作方法等の研修を行いました。

各種資料の保存による閲覧等が容易であるため、今後導入すべきかの協議が必要と感じました。

下関市議会では、下関市議会基本条例に基づいて市民と議会のつどいを開催されております。

開催にあつたての効果等や問題点を聞くことができ、意義ある研修となりました。



飯塚市議会にて

J A糸島産直市場 伊都菜彩

平成30年5月10日福岡県J A糸島産直市場伊都菜彩を訪問し、調査を行いました。

伊都菜彩は、平成19年4月にオープンし、平成26年の売上高は約40億円、出荷者数は約1500人、来客数は約137万人を数え、J A直売所では日本一を誇っている直売所です。

当日は平日にも関わらず、たくさんのお客さんと賑わっており、出荷者の出品に対する意識の高さや消費者との交流が図られていることを感じました。



広報編集特別委員会調査

平成30年5月10～11日、委員会は大刀洗町と朝倉市を訪問し、議会だよりの編集、発行について説明を受けました。

福岡県大刀洗町議会

大刀洗町は、一般質問欄に、「議員のつばやき」というスペースがあり、記事の中では言い足りないことや、議員の本音が50字以内でつぶやかれており、記事の面白さを感じました。また、「たちあらい議会だより」は、全国町村議会広報コンクールにおいて、2年連続入選されています。議員一人ひとりの議会広報に対する意識の高さ、取組姿勢が認められたことが今回の受賞につながっているのではないかと感じました。



大刀洗町議会にて

福岡県朝倉市議会

朝倉市の「あさくら市議会だより」は、委員構成、編集スケジュール、ページ構成など、本市と似通った取り組みをなされていました。

紙面の中に、「議会報告会」開催の記事があり、296名もの参加者があつたということに目がとまり、議会報告会に関する意見交換を行いました。

研修後は、昨年、発生した九州北部豪雨において甚大な被害をもたらした杷木地区の被災地を視察しました。朝倉市の一日も早い、復旧復興を願います。



朝倉市議会にて

平成29年度(後期) 政務活動費収支報告集計結果

◆ 政務活動費とは？

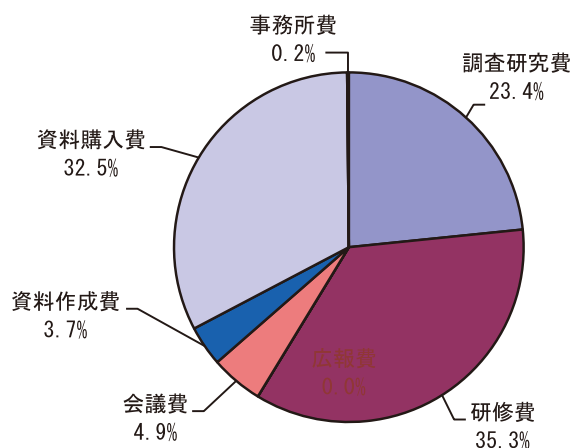
議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるものです。
雲仙市では、一人当たり月額15,000円〔年額180,000円〕が議員に交付されます。

- 補助金交付決定額：15,000円×4ヶ月×18名＝1,080,000円
(※1名は申請なし、H29後期の交付対象月：12月から3月までの4ヶ月)

内訳	金額
交付決定額	1,080,000円
交付確定額	931,124円
交付決定額に満たなかった額	148,876円

○ 収支報告集計結果

科 目	報告金額	主な支出項目
調 査 研 究 費	241,772	政務活動時旅費、コピー代、携帯電話代、タブレット使用料、固定電話代、インターネット利用料、電子辞書代等
研 修 費	365,250	政務活動時旅費、研修会参加経費
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	50,180	政務活動時旅費、会議参加時経費
資 料 作 成 費	38,544	事務用品代、名刺代、消耗品費
資 料 購 入 費	336,462	新聞購読料、書籍購入費
人 件 費	0	
事 務 所 費	1,620	FAXインク代
合 計	1,033,828	(内、交付確定額931,124円)



議会を傍聴してみませんか？

平成30年第3回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
8月30日（木）～9月28日（金）です

- 一般質問 9月 3日（月）～ 6日（木）
- 議案質疑 9月10日（月）
- 委員会
文教厚生常任委員会 9月11日（火）～ 13日（木）
産業建設常任委員会 9月12日（水）～ 14日（金）
総務常任委員会 9月14日（金）・18日（火）・19日（水）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

編 集 後 記

今回地元中学校の体育大会を見学する機会がありました。「前人未踏」～いまだない景色へ～を生徒会のテーマとして掲げ、各リーダーを先頭に短い練習期間にもかかわらず、力強い演技と団結力を披露してくれました。若人から元気をもらいました。児童・生徒の今後の活躍に期待します。

（矢崎 勝己）



議会広報編集特別委員会

委員長 渡辺勝美
副委員長 平野利和
委員 矢崎勝己、大山真一
山本松一、藤本淳次郎

全国市議会議長会表彰



平成30年5月30日に東京で開催された全国市議会議長会第94回定期総会において、長年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により大久保正美議員が表彰を受け、定例会の開会日に議場において、表彰状の伝達が行われました。

○ 大久保 正美 議員（議長 4年以上）

お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。